



大内中だより

Webページはこちら→

さつきの丘

令和7年3月21日
第49号



令和7年度に向けて 修了式での生徒発表より

後期を振り返って

1年 ○○ ○○

後期に入って、私は学習や行事などのさまざまなことに取り組むことができました。学習では前期に続き、定期テストで良い成績をとることができました。とても嬉しかったです。これからもたくさん勉強に取り組んで、良い結果を残すことができるように頑張っていきたいです。しかし、私は宿題を最後までためてしまうくせがあり、冬休みや定期テストの宿題をいつもギリギリに終わらせていました。これからは、土曜日曜の宿題を日曜日までにためずに、毎日勉強したいです。

生活では、前期よりも自分から積極的にあいさつすることができました。大内中学校は、あいさつ日本一を目指しているのです、ずっと続けていこうと思います。課題は、早寝早起きがあまりできなかったことです。いつも寝る前にダラダラしてしまったり、起きてもまた二度寝したりしているのです、2年生になるまでに直したいです。

後期に行われた行事については、球技大会でバスケットボールをやりました。今まであまりやったことがなかったので、よく分からないこともたくさんあったけど、友達に教えてもらいながら協力し合って試合することができました。友達との絆も、もっと深まったと思うので良かったです。もう一つ大きな行事として、卒業式での歌を頑張りました。「明日の空へ」は初めて歌う曲で、難しいところもたくさんあったけれど、たくさん練習して、本番では3年生によい合唱を届けることができたと思います。

来年度は新1年生が入学し先輩になるので、行事や委員会で今年度よりも活躍できるように積極的に参加したいです。今年度の学習や生活の課題を改め、2年生としてお手本となるような先輩になります。学年のみんなと協力し、様々なことに挑戦した経験を大切に、さらに仲の良いメリハリのある学年にしていきたいと思います。We can do it!

後期を振り返って

2年 ○○ ○○

私が後期に挑戦したことは3つあります。

1つ目の挑戦は「部活動」です。夏の県大会が終わり、3年生が引退して、自分たち2年生がチームを引っ張っていくことになりました。キャプテンを中心に1からチームを作っていました。秋季大会では自分たちの持ち味であるチームワークや打撃力を活かして、優勝することができました。秋季県大会では県のレベルの高さを実感しました。県大会を終えてから、絶対に勝つんだという気持ちで練習に取り組んできました。その成果を発揮して春季大会で優勝できるようにがんばります。

2つ目の挑戦は「あいさつ」です。私は生活委員会のあいさつ運動に取り組んできました。学校目標である「あいさつ日本一」を目指し委員会以外でも積極的にあいさつをしてきました。野球部でも応援されるチームを目指し、日々のあいさつに力を入れてきました。練習試合の時も対戦相手やその親の会のみなさん、審判のみなさんに自分から率先してあいさつができるようになったところが成長した点だと思います。

3つ目の挑戦は「学級副委員長」としてクラスや学年を引っ張ったことです。今までの私は話し合いの時は人に任せっきりでした。いざ副委員長になったら人をまとめることの大変さが分かりました。学年全員で5月に行く修学旅行のテーマを話し合った時は、みんなから、たくさんいいアイデアが出てまとめるのにすごく苦労しましたが、それだけみんなが真剣に考えてくれて、ありがたかったです。また、修学旅行に行く気持ちが一気に高まりました。決まったテーマは「大阪5月の陣～大阪を楽しんでもええじゃないか～」です。このテーマを合い言葉に大阪に行って、全力で楽しみ、学年の仲間の絆を深めたいと思います。

最後になりますが、4月に私たちは3年生になります。私たち44人で力を合わせて全校のリーダーとして、下級生の手本となり、運動会、大中祭、10周年事業を盛り上げることに挑戦していきたいです。

修了式 校長あいさつ

3月8日の卒業式。1、2年生の式に臨む姿勢が素晴らしく、また運動会や大中祭、委員会活動、部活動などで、お世話になった先輩への感謝の気持ちを込めた歌声は、参加した保護者や地域の方の心に残るものとなりました。

さて、先日の卒業式の校長式辞の中で、「選択を大事にする」ことをお話しました。「人生は選択の連続です。何か行動を起こそうとする時、人は自然に選択をしています。身の回りのものを選ぶ時も、人との関わり方も、進路や職業など自分の歩むべき道を決める時も同じです。誰かの助言であったり、誘われたりしたことであっても、人はそれを受け入れるべきか拒むべきかを選択しています。」と。

これは卒業生に向けた言葉ですが、在校生の皆さんにもあてはまる内容ですので、再度考えてみましょう。

令和7年度、つまり来年度から道徳の教科書が変わります。残念ながら、皆さんが1年生用の教科書で学んだり考えたりする機会がありません。実は、その教科書の中に「自分で決めるって？」というタイトルがあります。

そこでは「自分で何かを『決める』ときに大切なのは、どんなことだろう」と問いかけられます。皆さんだったらどう答えますか？

大内中学校の3つの校訓の1つに「自立」があり、関連する目指す生徒像には「自ら考え自ら判断して、進んで～取り組む生徒」としています。この2つには、強い関係があるように思えることでしょう。つまり、自ら考え、判断し、実行することは、「自立の大切さ」を学ぶと同時に、その判断の「責任」を果たす力を身に付けていくことに他なりません。「自立や自由」には「責任」を伴うと言われる所以です。

もう一つ、自分で決めるということは、自由であるとも言えます。

自由とは何でしょうか？

マンガ「テルマエ・ロマエ」で有名な漫画家のヤマザキマリさんは、同じ表現活動、音楽や美術などに関わる若者達との対談で、自由について、次のように話しています。

ヤマザキマリさんは、肖像画といった限られた分野ではなく、「とにかく絵を描きたい」という自分の本質に気付き、人生を歩んできました。それは、孤独や疎外感との戦いでもあったのです。マンガで成功し、今では、文筆家として、エッセイや評論にまで活躍の場を広げています。

さて「自由」とは？

もともと哲学の言葉であり、他からの強制・拘束・支配などを受けないで、自らの意思や本性に従っていることを指しています。そして、自分で決める（選択をする）際に大事なことは、自分の意思に従うことであり、少なからずそれまでの生き方や考え方が反映されるのです。

あらためて1、2年生のみなさん。進級、おめでとうございます。後期の生徒会活動や卒業式などで、学校のリーダーとしての底力を見せてきた2年生。仲間を思いやる気持ちをもち成長著しい1年生。頼もしい皆さんの力で、開校10周年記念行事を控える令和7年度を「次の10年に向けた礎の年」にしてほしいと願います。また、一人一人が持てる力を出し惜しむことなく、新しいことに挑戦する中で「自分はどう生きべきか」を考え続けてほしいと思います。

明日からの春休み、心を整え、いい準備をして新年度を迎えましょう。

